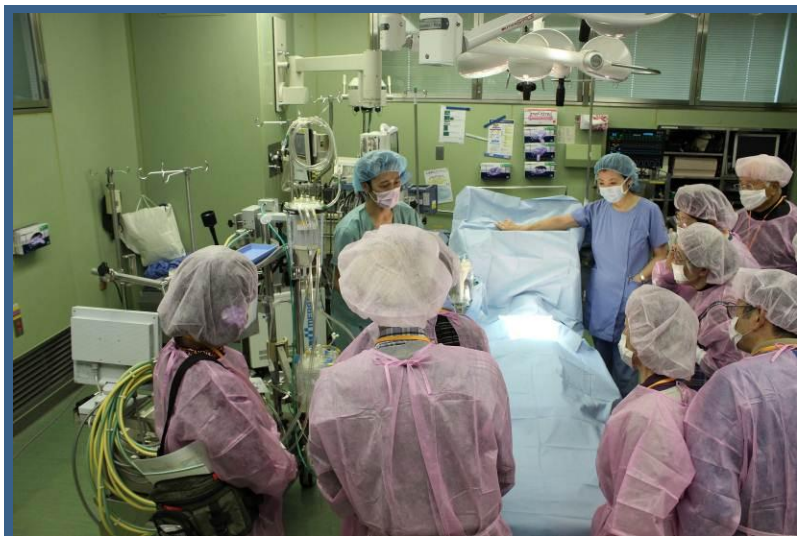


見て、食べて、学ぶ！ 心臓病トータルケア実施報告



手術室の見学

プログラム

- 治療食の試食・講義
 - ・ 狭心症ってなに？
(小浦貴裕医師)
 - ・ 心臓病予防の食事
(太田奈緒美管理栄養士)
- 見学・体験
 - ・ 循環器内科外来
 - ・ 血管撮影室
 - ・ 生理検査室
 - ・ 心臓血管手術関連

ご好評いただきました！

平成 25 年 12 月 8 日（日）横浜市立市民病院において、市民公開講座「見て、食べて、学ぶ！心臓病トータルケア」を開催しました。当日は 40 人が参加し、様々な体験や院内の見学を行いました。

心臓病治療食を召し上がりながら、狭心症の症状、原因、診断、治療、予防に関する講義を聴いて頂きました。続いて、栄養士の講義と外来での血圧測定や検脈（予防）、生理検査室の体験（診断）、血管撮影室や手術室（治療）の見学を通して、各エキスパートが協力してチーム医療を行っている現場を体感して頂きました。

病気を未然に防ぐことの重要性と共に、万が一病気になっても市民病院では安心して受けられる医療を提供していることを、一般市民の方々にお伝え致しました。

（循環器内科 小浦 貴裕医師）



「病院の安心感を実感」
「体験型でわかりやすい」
「減塩食の感じが理解できた」などのお声をいただきました。

参加された皆様、ありがとうございました！

治療食試食・講義



「塩分」と「エネルギー」を制限した、病院の治療食を試食していただきました。管理栄養士からは、「心臓病の食事」についてお話ししています。『食べて学ぶ』という貴重な体験の場となりました。薄味の食事でしたが完食されていた方が多く、健康意識の高さがうかがえました。



循環器内科外来

日常的にできるご自分での健康管理視点から、血圧や脈拍、体重管理についてお話をしました。

また“血圧を測る”といっても自動血圧計にも種類がいろいろあり、メリットやデメリットがあります。ご自身に合った自動血圧計の選び方、正しく測る方法など、ご自宅でもできる健康管理について実際に体験し、知っていただきました。

現在、自動血圧計で測っている方もいらっしゃいましたが、自信を持って測れる手技を体験していただきました。



血管撮影室



血管撮影室では、医師・看護師・診療放射線技師・臨床工学技士のチームによる医療を行っているため、まず、スライドを用いて各職種の紹介を行いました。

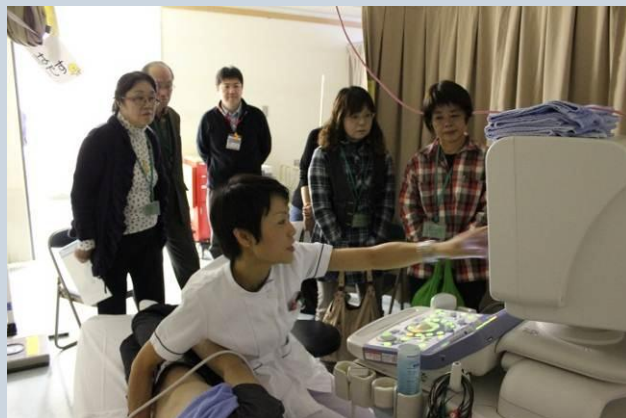
次に心臓カテーテル検査のビデオを視聴していただき、適宜看護師による説明を行いました。

後半は、グループを分けて①診療放射線技師による心臓カテーテルの治療前と治療後の画像説明および撮影装置の説明・体験、②臨床工学技士・看護師による医療機器の説明およびカテーテルや心臓血管治療に用いるバルーンやステントなどの説明・体験を行いました。

生理検査室

生理検査室では、心臓病の検査の講義、トレッドミル負荷試験の装置の見学、心エコー検査の見学、また頸動脈エコー体験をしていただきました。

トレッドミル負荷試験では、参加者にベルトコンベアの上を実際に歩いていただき、トレッドミル負荷試験を体感してもらったり、心エコー検査では、実際に動く心臓の画像をご覧いただきました。頸動脈エコー体験では、ご自身の頸動脈をエコーで描出すると、みなさん非常に高い関心を寄せられていました。



心臓血管手術関連



心臓血管手術関連では手術室の見学、集中治療室の見学を企画しました。

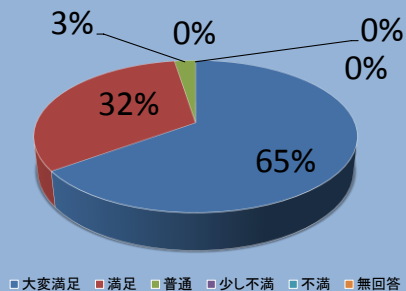
集中治療室では一般病棟とは違う集学的治療の現場の見学をしていただきました。

手術室では心臓手術を行う手術室で人体模型を用いて実際の心臓手術の様に人工心肺、無影灯などを作動して皆さんに見ていただきました。

また実際に使用する心臓の人工弁、人工血管、腹部大動脈瘤でのステントグラフトのシミュレーション、永久植え込み型ペースメーカー、冠動脈バイパス術に使用する細い糸などの展示し、心臓血管外科の手術についての説明を行いました。

参加者アンケート結果

参加したみなさんに感想をうかがったところ、97%の方が「大変満足」または「満足」と回答されました。



<自由意見>

- ・治療は多くの専門家が集約して行われることを知り、安心して治療を受けられると思った。
- ・生活習慣病予防の大切さがわかった。
- ・手術室の中まで見ることができて来たかよかった。
- ・医療機器の進歩に驚いた。
- ・実際の治療食を食べ、実感がわいた。
- ・もっと時間に余裕が欲しかった。
- ・こうした取り組みを続けて欲しい。

●おわりに●

当病院の市民公開講座は、①知識の定着と実践、②病院と市民の方々がより近い関係になれる、ことを目的として、座学と実習を併せた内容も行っています。

来年の2月には、4年前から取り組んでいる、病院外の方々と一緒に企画した料理教室を開催予定です。これからも手作りの市民公開講座を企画する予定ですので、その節はどうぞよろしくお願い致します。（糖尿病リウマチ内科 平野 資晴医師）